

本庄市食生活改善推進員協議会

設立年月日	昭和47年3月	年会費	1,000円
推進員数	48人（令和8年4月1日現在）		

1 活動目標

- ① 「私たちの健康は私たちの手で」のスローガンのもと、健康寿命の延伸に努めましょう
- ② 全ての年代における食育を推進しましょう
- ③ 地域社会におけるコミュニティーを大切に楽しく活動を続けましょう

2 令和7年度 活動状況

- ① 理事会、役員会 34回
- ② 定例研修会 30回
- ③ 米利用教室事業 2回
- ④ 生活習慣病予防料理講習会 1回
- ⑤ 高齢世代講習会 2回
- ⑥ 市社会福祉協議会事業：
レシピ提供、調理実習 5回
- ⑦ 公民館：台湾料理講座 2回
- ⑧ 学校給食『台湾料理の日』試食
1回
- ⑨ 『七高祭』台湾料理教室開催
台湾菓子作成販売
- ⑩ 大型バスによる研修旅行
地元食品工場見学会 各1回



3 会の特徴

本庄市食生活改善推進員協議会は、事務局を本庄市保健センター内に置き、管理栄養士の指導のもと、本庄地区、児玉地区に分かれ活動しています。それぞれの地域の中で、身近なアドバイザーとして食育普及活動に取り組んでいます。

毎年度、本庄市食改として活動テーマを決めており、令和7年度のテーマはフレイル予防、減塩、台湾料理としました（台湾料理：台湾台南市と本庄市が友好交流協定を締結していることからテーマに選出）。台湾料理という経験のないジャンルの取り組みでしたが、食改らしさを出すため、フレイル予防を取り入れたレシピを作成し、会員研修会、公民館講座、市の事業『七高祭』などで、普及活動に取り組みました。